



敬老会おめでとうございます。少し緊張したけど、上手に渡すことができました。

# 田子町 議会だより

2019

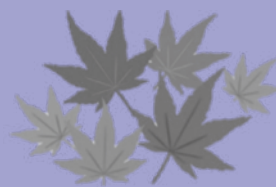


目次	敬老会	P2~3
目次	第3回定例会	P4
	一般質問	P5~7
	決算審査	P8~9
	議員活動報告	P10
	トンネル要望活動	P11

## 第101号

令和元年11月21日発行  
青森県田子町議会

# 田子町敬老会



令和元年9月13日、田子町敬老会が開催されました。  
 多くの方々にご出席し、ご長寿を祝い、田子幼稚園・田子保育園・  
 上郷保育園の園児達のかわいらしく笑顔あふれる遊戯や  
 田子町文化協会など、たくさんの催しが行われました。



まだまだ元気な皆さん。  
 私たちも負けてられません(^\_^)

嬉しさの中に、少しだけ恥ずかしさが  
 見える笑顔が素敵でした。



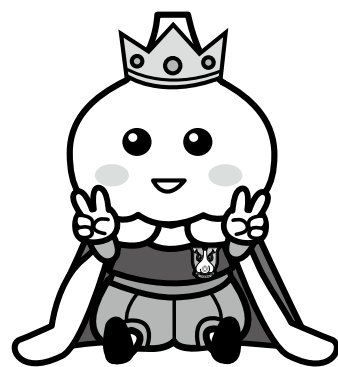
子ども達の可愛い姿は自然と私たちを  
 笑顔にしてくれました。

## 敬老会





# 令和元年度日



## 敬老会を迎えて

令和元年9月13日、田子町敬老会が開催され、多くの方々にご出席いただきました。

皆様が敬老の日を元気に迎えられたことに、心からお祝い申し上げます。敬老会は、皆様のご長寿を心よりお祝いし、末永いご健康を願ひ、そして、当町の発展、復興に一方ならぬご尽力をくださった皆様のご功労とご功績に、改めて感謝する会と思っております。

我々、議員もこれまで皆様が築き上げてきたものを大切にし、笑顔があふれ、活気ある田子町を町民の皆様と共に支え続けていきたいと思ひます。

(宮村 尚哉)

## 第3回定例会 あらまし

令和元年第3回定例会が9月3日(火)から9月11日(水)までの9日間の会期で開催されました。

3日には諸般の報告・議案の上程・説明がされました。

5日の一般質問には、3名の議員が登壇し多岐にわたり活発な議論が交わされました。

決算特別委員会が5日から11日まで開催され、決算の認定が行われました。

同日、議案の審議、議員派遣の件、各常任委員会に係る所管事務調査の承認が行われました。

## 審議結果

令和元年9月定例会で審議した議案と、その結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第43号	田子町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案承認 (賛9・否0)
議案第44号	田子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第45号	田子町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第46号	田子町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛9・否0)
議案第47号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 (賛9・否0)
議案第48号	令和元年度田子町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第49号	令和元年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第50号	令和元年度田子町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第51号	令和元年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決 (賛9・否0)
議案第52号	令和元年度田子町水道事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決 (賛9・否0)
認定第1号	平成30年度田子町各会計歳入歳出決算の認定について	原案可決 (賛9・否0)



沢口博二 議員

### 山本町政二期について

**質** 何ができて、何ができなかったのかの自己査定はいかがなものか？ 三期目に向けて、やり残したことは何か？

**答** 【これまでの二期においての取り組み】  
①次に発生するかもしれない、不測の事態に備え、目を開き対応できる訓練を行うこと②互いに助け合い励まし合うこと③船を修繕し弱い所を強くし全員が無事に過ごすこと④それぞれが収入を得て生計が成り立つこと⑤新たな装備を備えて、新

たな時代に立ち向かうこと⑥明るくにこやかに、生き甲斐と自信を持って生きること、船員の確保を行うこと  
【出来なかったこと】

承がなされず、地域活動の縮小を余儀なくされ、空き屋問題や高齢者の困窮者の増大などへ繋がっているものと理解している。

この二点については、今後も喫緊且つ重要な課題として、取り組みなければならぬと考えており、三期目については、議員各位及び町民の皆様とともに、一丸となり取り組みむべきものと考えている。

●昭和30年をピークに減少し続けている人口減への対応であると考える。ある程度の抑止は出来、人口構成比率の改善にも効果はあったとは思いますが、地域を支え、産業を支え得る所までは実行できていないのが実感。特に、地域を支え、産業を支えるという観点では、人口減少の他に、高齢化によって労働力の継承と確保がなされないこと、及び労働力分布の様変わりが進み、急速に町内から労働力が失われる現象となっている。

●価値観の多様化と少子化により、家としての後継者を確保出来ないことにより、家の継



田子町の発展のため、田子町全体での協力が必要不可欠となっている。

### みろく姫について

**質** 今年の収穫した物について町の基本的な取り扱いの指針を示してもらいたい。

**答** 美六姫は、時間と費用をかけて開発したことから、種子としての流出防止対策とブランド化を目指すことは、非常に重要であると考える。今年収穫された美六姫については、町の委託業務により一般財団法人田子町にんにく国際交流協会へ美六姫の購入と販売を依頼したい。また、売り先につきましては、受託業者と協議して決定したい。

**答** 1. オリジナル種子ブランド管理等業務委託事業。  
美六姫の購入と皮むき手数料を含めて2千万円で委託。  
2. 町の買取事業に賛同した生産者の美六姫に限り、高温処理施設及びCA冷蔵庫使用料を全額補助450万円。合計2450万円を支出する予算となっている。

りましたが、うまく繋ぐことが出来なかったことが遅れている原因であると考えている。現在は、町が主導的に生産者の会との協議を進めている。

**質** 対応が遅れている原因は何なのか？

**答** 町では、様々な産地ブランドについて研究・検討したところ、その多くの産地では生産者や生産者組合などが主導をしてブランドを作り、守っていることが分かりました。美六姫もスタート段階からこのような組織づくりをしたいと考え、様々なアプローチをして参



田子町の基盤の一つである第一次産業、ブランドの一つとなりうる美六姫への期待は強くなっている。



山崎 美代志 議員

### 農業振興について

**質** 田子町の農家が減少するなか、やる気のある農家に後押しをして田子の農業をどのよ

**答** 少子化と人口減少は、国県そして我が町にとって大きな課題であり、とりわけ産業振興に関して人口減少は、経営者の減少をはじめとして、手間取りの減少、人不足と経費節減からの資材、肥料、農薬の高騰など多岐にわたると考えられる。

昨年度に農業委員会

では農家を各戸訪問し詳細な農家の現状とこれからの調査した。後継者の有無については、「後継者がいる。これから後継者となる者がいる」を合わせ28・9%である。この事から、田子の産業と産地を守り、経済面積を活用し、魅力ある産業とするためには、個々の農家の経営規模の拡大が求められるという事である。

高齢となられても農業が継続できる様、軽量野菜の選択や共同作業、共同経営、農業法人化、集落営農は大きな選択肢となるよう、仕組みづくりに努めて参りたい。また、意欲ある農業者への支援については、現状の農家が存続し農業を続けて行ける為の支援から、更に踏み込んだ政策の立案が必要であると考

えている。

①規模拡大に対応する経営改善の情報提供



政策の一つである助成制度を活用し、農家への負担軽減を図る。

を行い、農業経営の座学を実施。

②家族経営の他にも、共同作業、共同経営、農業法人化、集落営農等への取り組みについて推進を図る取り組みを実施。

③農業と加工・販売に関する相互理解と産業推進戦略を組み立てられるよう、協議・情報交換の場を提供し、事業計画立案に寄与。

④これまで実施している人財育成や各種支援については、見直しつつ、後継者が夢と希

望を持つて取り組める仕組みとしたい。

⑤農産物において、信頼される品質、満足して頂く作物の研究、産地として認定され、有利な取引が可能な生産者団体の育成及び組織化が必要。

・農業者団体等との連携は更に緊密に情報共有、政策共有を図りながら、他の地域には無い田子らしい農業実現のため、政策の展開と事業の立案に努めて行き考えている。

・議員が指摘する「やる気のある農業者」を議会の皆様と力を合わせ、意欲と経営力に溢れた経営者として、如何に増やしていけるかが鍵になると思っている。



### 協働のまちづくりについて

**質** 田子町の人口減少が加速しているが、町長はどのような住みよいまちづくりを目指して「田子町の将来構想」を描いているのか伺いたい。

**答** 「協働」とは、官と民が協力し合い、目標達成に向けて、力を合わせ活動すること。現行では、行政で立案した事業に御理解と参画を要請するものが多数だが、対話集会による町の取り組みに対する理解と、民意を町政に反映する仕組みや、町と自治会が協力して地域課題を速やかに解決に結びつけるなど、協働の取り組みは前進しているものと考えられる。

これまで、総合戦略を策定・実施してきた。①魅力あふれるしごとづくり。②みんなが住

み続けたいまちづくり。③結婚から始まる子育て総合支援。④高齢者が活躍できる社会づくりであります。今後は、総括を行い、課題と目標を整理し、国の新たな地方創生の方針に基づき、修正を加えながら推進していく。更に、今後の田子町に必要な最も基本的な取り組みは、家族や、隣人との、地域間の、そして、行政をはじめとする各団体との、適切で良好なコミュニケーションである。進展する人口減少をなるべく遅くして人口構成比率の改善を図り、より良いコミュニケーションが出来る環境整備に力点を置き、そこから生まれる発想や工夫を政策に活かし、明るく朗らかで、仲良く支え合い、喜んで働き、活力に満ちた人々の町を議員各位と力を合わせて創造したい。



尾形 憲男 議員

### 地元への若者の定着率向上に向けた取組みについて

**質** 地元への若者の定着率の悪さが人口減少の大きな要因であると考ええる。具体的対策を示して下さい。

**答** 18歳から29歳までの若者世代の移動状況は、対前年度末比で△28人となっており、18歳人口の減少は大きいものの、減少を抑制する取り組みは、総合戦略により、各種定住施策に取り組んできた。その主な内容は、地元企業が新規卒業者等を正規雇用した場合に助成する「定住化雇用促進

事業」。そして個人への支援として、若者世帯やU・イターン世帯が賃貸住宅に入居した場合の負担軽減を図る「住宅料助成金支給事業」。町外通勤者への助成となる「通勤支援事業」。個人住宅の新築や改築、賃貸住宅の整備に対して助成する「若者定住・移住者住宅等整備支援事業」。これらの事業の実施により、年齢別人口において穏

やかな減少に転じたり、若干の増加が見られる年代が出てきているので、事業効果が少しづつではあるが、現れてきている。今後の取り組みとして特に必要なことは、高校卒業及び大学卒業時のタイミングで町外へ転出する人口をどのように抑制していくか。また、U・イターン就職の雇用機会をどのように増やしていくのかが課題である。定住を考えるには、第一に雇用があり、将来を見据えた生活設計ができる場所が必要である。そのためには、雇用創出や、就業希望とのすり合わせと情報発信が必要となる。町内及び近隣市町村への企業誘致の促進を図るとともに、現在実施している定住施策を継続し、雇用の受け皿不足解消のための取り組みを考えていきたい。



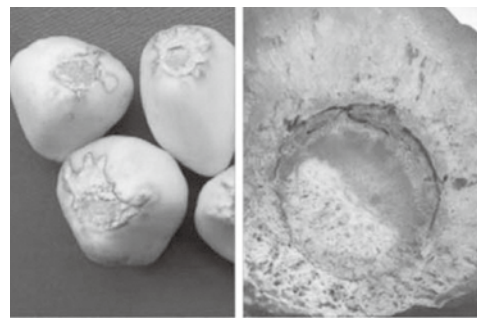
田子町に限らず国、県近隣市町村が抱える大きな課題。

### にんにくイモグサレ線虫対策について

**質** 町内のニンニク圃場でイモグサレ線虫の被害が発生して今では常態化している。これに有効な手だてがあるのか？ 今後のにんにく栽培、主要作物の維持が難しくなってくると思うが、農業政策と合わせて取り組み解消法等を示せ。

**答** イモグサレ線虫対策は重要な課題だと認識している。これまで、栽培指導の中では、新しい種と新しい畑での栽培が基本となっており、土壌消毒の指導も行っているが、完全に防ぐことは出来ないため抜本的な解決にはなっていない。昨年度から、国立弘前大学との包括連携を締結し、イモグサレ線虫を含む病害虫対策の研究を開始しており、初年度は

一度センチウが発生した場合は完全に駆除することは困難とされており、農家への負担も大きくなる。



→農林水産省のホームページより抜粋

は、植物が持っている病害耐性物質に注目し研究を始め、5年を目処に研究を進めていく予定で、弘前大学との共同研究の中で、効果的な方法が早く見つかり、生産者の皆様と共有できることを期待している。

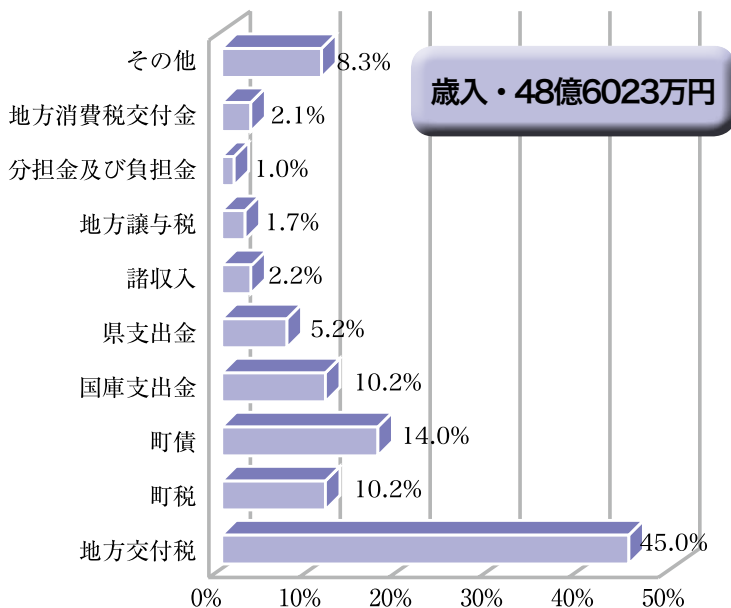
イモグサレ線虫の特性の把握について研究しており、成果につきましては、既存の土壌消毒剤の有効性が示されている。当面の間は町単独で実施している土壌消毒への助成事業を活用し、生産者自ら線虫対策を実施して欲しい。今年度からの研究で



# 平成30年度決算を認定

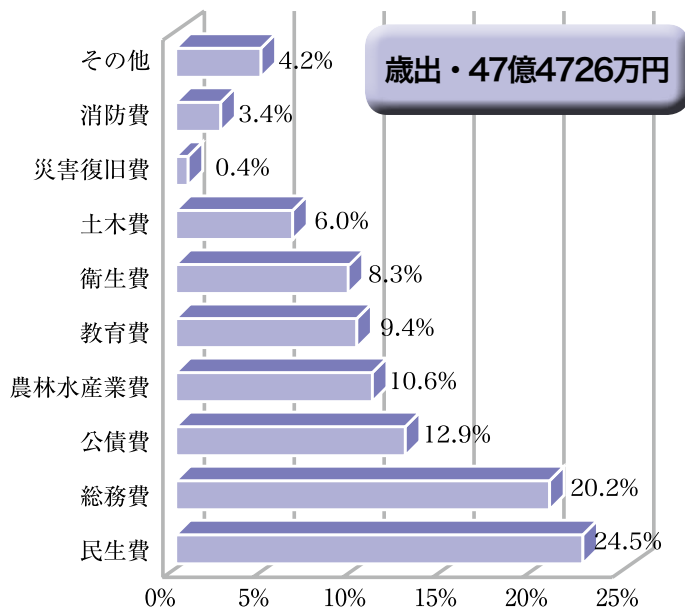
## 歳入

款	平成30年度	
	決算額(千円)	構成比
地方交付税	2,189,497	45.0%
町税	497,464	10.2%
町債	682,200	14.0%
国庫支出金	497,899	10.2%
県支出金	252,194	5.2%
諸収入	106,022	2.2%
地方譲与税	82,534	1.7%
分担金及び負担金	47,946	1.0%
地方消費税交付金	100,586	2.1%
その他	403,897	8.3%
合計	4,860,239	100.0%



## 歳出

款	平成30年度	
	決算額(千円)	構成比
民生費	1,165,405	24.5%
総務費	961,137	20.2%
公債費	614,665	12.9%
農林水産業費	501,410	10.6%
教育費	445,906	9.4%
衛生費	392,758	8.3%
土木費	283,657	6.0%
災害復旧費	19,599	0.4%
消防費	163,109	3.4%
その他	199,622	4.2%
合計	4,747,268	100.0%



### 決算審査意見書 (要旨)

平成30年度田子町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算書に基づき、関係諸帳簿及び証拠書類等を照合した結果、一般会計及び特別会計とも、予算の執行については、効率的かつ適正な執行が行われていることを確認し、事業の執行についてもおおむね良好に進捗しており成果が認められました。しかし、収入未済額においては、町全体の会計で見ますと、収入未済額は大きな金額となっており、滞納整理の推進と県市町村総合事務組合との連携を一層強化し、徴収の効果を上げるとともに適正な欠損処分処理を望みます。そのためには、庁内の連携は勿論のこと、情報収集等に努め、より一層の協力が必要と思われる。歳出面についてであり

ますが、交付税等の減少が進むなか、年々歳しさが増す昨今であります。健全かつ着実な財政運営を図るべく、歳出の抑制に努めなければならず、今後の事務事業の予算編成及び執行に当たっては、現状への認識を深め、職責上の自覚を持って望み、行政上の効果を高めるよう努力していただきたい。しかし、特別会計に係わる事業運営にあたっては経費が減少の傾向にあり、一般会計から繰出金依存度も軽減されてきている。これも予防医療事業の成果や、施設・備品の適正管理など創意工夫に努力された結果であり、これからも続けてほしいと望みます。以上をもちまして、平成30年度の決算審査報告といたします。

田子町監査委員  
高沢 靖直  
北田 騰



# 平成30年度決算審査特別委員会

9月5日から11日までの決算特別委員会では、委員長に宮村尚哉議員、副委員長に椛本義見議員が選任され、議員全員が委員となり、平成30年度決算について審査を行いました。予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価します。ここでは主な質疑を要約して掲載します。

## 質 尾形憲男委員

お試し住宅のことに  
ついて利用された方々  
は、どういう印象持っ  
ておられたか。

**答** 梅内子育て定住移  
住支援室長  
毎回、来ていただく  
前と来ていただいた後  
に、どのような希望を  
持ってきていただいた  
かと、住んでいた後  
に感想を書いていた  
だいております。

ておりました。

## 質 蹴揚清人委員

旧保育園を今後、ど  
のような活用を考えて  
いますか。

## 答 町長

跡地につきましては、  
しっかりと議論をしな  
くてはいけないと思っ  
ております。例えば、  
アパート等々の建設に  
使ったかどうか。これ  
は、3件ほど建ててい  
ただきました。比較  
的評価も高く、住処  
があると入りたいとい  
う方々が多いという  
のであれば、そういう活  
用の仕方もできるでし  
ょうし、公共的な施設  
として何か必要性があ  
るかどうかということ  
もありますので、ここ  
は各課の政策的な展開  
の中で、最も将来に向  
け効果が高いと思われ  
るものに使っていき  
たい。

今からですが、議員  
の皆さんにも相談しな  
がら、少し考えていき  
たいなと思っている。

## 質 沢口博二委員

町商工会の運営事業  
費補助金ですが、現状  
商店もどんどん減って  
ますし商工会が、今ど  
のような状態にあるの  
か、また商工会の役員  
の方々はそのことで町  
と何か会議など、模索  
の場を開いていると思  
うんですけども、その  
辺でどういう意見が出  
てるのか。

## 答 町長

商工会のメンバーは  
減り続けているのは確  
かです。新たな方向性  
を見出さないといいな  
いと思っている。町側  
としても商工会と相談  
しながら、創業実践塾  
等を通じて多くの社長  
を輩出していきたく  
取り組んでいるところ

です。

## 答 三田GL

商工会としては、三  
戸町との統合が事前に  
県からも示され、向か  
っている途中であると  
報告いただいております。  
2町の商工会のあ  
り方については、広域  
的な考え方をしなければ  
ならない。ただし、  
将来における田子町の  
経営を念頭に置ける  
方々が増えていただか  
なくては困るので、企  
業の方々、社長も増や  
していきたい。また、  
農業者においても経営  
者となる経営体として  
の農業経営をできる方  
が増えてほしい、こう  
いう思いで、商工会メ  
ンバーとは意見交換は  
しております。  
観光協会の流れにつ  
きましては、担当のほ  
うから説明をさせます。

観光協会ですが、補  
助金については、基本  
的な総会、役員会の運  
営や、大福山で行われ  
るさくらまつりのイベ  
ント、つつじまつりの  
企画・運営、8月に入  
りまして盆踊り大会、  
11月になりますとにん  
にくロードウォーク、  
そして最近、ここ2年  
ほど、タプコブ創遊村  
で開催しておりますタ  
プコブマルシェヘクラ  
フトの出展事業者を集  
めて、にぎわいを持た  
せており、こちらも企  
画・運営の部分に入っ  
ております。

観光協会としても一  
生懸命観光の分野で協  
力しながら、町と協力  
しながら推進している  
ところです。

## 議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 尾形憲男委員  
欠端則夫委員 沢口博二委員

### 協議

○実施日 8月21日  
9月3日開会の令和元年田子町議会第3回定例会の議事日程等について、協議を行いました。

### 議会広報編集委員会

○実施日 7月8日

議会日より第100号の発行に向けて、各自が担当した原稿の内容を確認し、誤字・脱字や、レイアウトについて校正しました。

○実施日 8月21日

議会日より第101号の発行について、掲載内容と原稿を作成する担当者を決め、10月24日の発行を目標に作業することとしました。

○実施日 9月24日

町村議会広報研修会（東京都）に委員2名が出席し、広報作成について研修を受けました。

## 総務・文教常任委員会

【構成委員】 宇藤大介委員長 尾形憲男副委員長 椛本義見委員  
山崎美代志委員 澤口勝委員

○実施日 7月16日  
**教育課**  
学校訪問では、各学校から課題と要望事項の説明を受け、校内を一巡し授業参観を行いました。

○実施日 8月7日

### 教育課

幼児教育・保育の無償化については、3歳から5歳児は保護者の年収を問わず、0歳から2歳児については、住民税非課税世帯を対象として無償化することとした。

### 総務課

今年度の職員採用に係る状況説明や9月補正予算の内容、消費税率及び地方消費税率の改定に伴う条例制定をすることとした。

### 政策推進課

相米慎二監督映画祭りについて説明があり、遠方からの問い合わせなど例年以上の予約が入っているとのことでした。

### 住民課

にんにく盗難防止の実施状況については、警察への被害報告の届け出は無かったとの説明を受けました。集会施設の改修工事は、茂市地区担い手センターと上野地区多目的研修センターの改修工事を実施しているとのことでした。

### 税務課

徴収率は、前年を下回っている。今後は納税相談や臨戸訪問等徴収対策に取り組むとのことでした。

## 産業・民生常任委員会

【構成委員】 欠端則夫委員長 宮村尚哉副委員長 蹴揚清人委員  
沢口博二委員 北田騰委員

○実施日 8月8日  
**診療所・老健施設**  
診療所については、一日平均の外來患者数は前年度に比べ約4人減少し、老健たっこは、長期・短期あわせて、前年度に比べ約3人増加し、訪問看護については、約4人で、前年度とほぼ同じ利用実績となっているとのことでした。

### 地域包括支援課

来年度から本格的に運用が開始される乳幼児健診及び妊婦健診の情報活用化に対応するため、管理基本システムの導入費用を計上することとした。

### 住民課

幼児教育・保育の無償化について、上郷保育園乳幼児用便所改修工事の入札業者が決定したとのことでした。

### 建設課

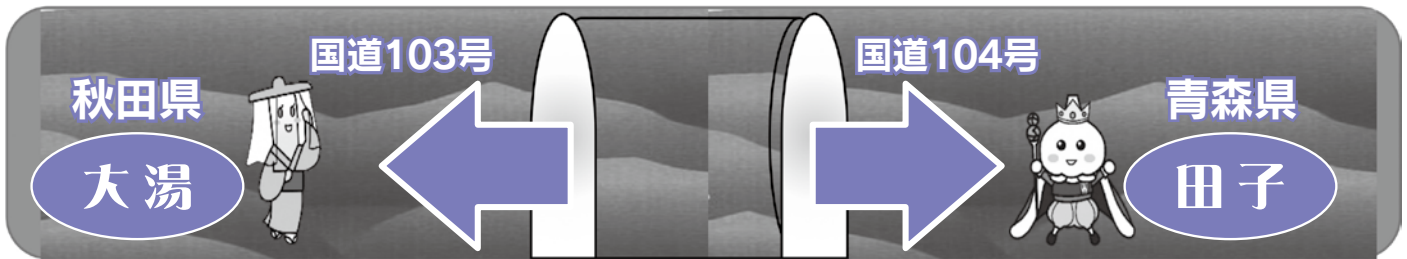
町工事の実施状況などについて説明があり、世紀越えトンネルの具現化では、県において引き続き現状把握のため調査を実施することとした。

### 産業振興課

にんにくの振興開発については、収穫作業が終了し、8月16日まで仮注文を受付したあと、9月6日まで分譲する予定とし、美六姫の販売ルールなどについては、説明会を開催し周知しているとのことでした。

### 農業委員会

今年1月～7月までの農地移動の実績報告と利用実態調査の概要と今後のスケジュールが決まったとのことでした。



世紀越えトンネル早期着工を目指して青森県・秋田県の両知事へ要望活動を行って参りました。

これまでも、様々な関係機関への要望やトンネル開通へむけての全体会など着実にその歩を進め、両県の着工へむけての調査も進んでおります。

この世紀越えトンネルは、ただの道ではなく両県や近隣市町村の、人・物流・文化・安全等の多岐にわたる交流に必要不可欠なものであり、新たな発見や発展の鍵となると信じております。

このような両県にとって大きなプロジェクトに関われることの重責を胸にこれからも行政とともに協力し、進んでいきたいと思っております。

(尾形 憲男)

### 青森県知事への要望活動



### 秋田県知事への要望活動



#### 編集後記

田子町議会が新体制となり、初となる議会だより第101号を発刊することができました。削る勇気を持って伝えるなど広報技術も日々変化しており、私たちも学び、町民に身近な議会だよりを目指し日々邁進して参ります。

(尾形 憲男)

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会 (101号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 尾形 憲男

欠端 則夫

沢口 博一

執筆協力

山崎美代志

# 秋田県鹿角市花輪ばやし

※屋台には各町内自慢の金箔が施され、総漆塗りや豪華な装飾など、見る者を圧倒する迫力があります。

8月20日、世紀越えトンネル加速化協議会議員交流にて、秋田県鹿角市で開催される花輪ばやしへ参加して参りました。日本三大ばやしの一つに数えられ、ユネスコ無形文化遺産に登録されており、鹿角市の夏の終わりを告げる行事となっている。

田子町と鹿角市や両市町を取り囲む市町村にとっても、世紀越えトンネル開通による交流は必要不可欠なものとなっており、これからも互いに協力し実現に向けて邁進してまいります。  
(澤口 勝)

